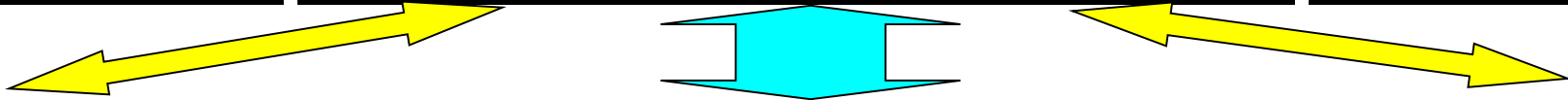


平成27年度 学力向上アクションプラン

尼崎市立下坂部小学校

学力調査結果等から見た学力向上についての課題 ○ 全国調査の結果から見られる課題 (1) 各教科の状況 ・国語 「書く」領域の知識や活用の力。 ・算数 「数学的な考え方」等、活用の力。 (2) 質問紙調査 ・全体的に学習意欲がやや低く、見直し修正・補充の不足。 ○ 保護者アンケートから見られる課題 ・家庭で「よく本を読んでいる」の割合が低く、自ら学習に取り組む意欲も低い。	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標 ○ 全国学力学習状況調査 (1)学力調査 ・平均正答率(全国平均以上) (2)質問紙調査による回答の高評価 ・予習・復習の励行 ○ 保護者アンケート ・家庭で「よく本を読んでいる」児童の増加
	授業力向上への取組 ○ 話す・聴くルールを活用した授業の展開 ○ 本校研究の「対話と共有」と全国学力調査から分かる今求められている学力との共通点から授業展開を検討する。(研究タイム15で共通点を報告、授業展開の研修) ○ 全国学力調査の結果と考察	学習習慣定着に向けた取組 ○ 朝学習タイム(読書) ○ 基礎基本タイム ・月～木 計算・漢字・音読 ・金 音読(音読プリント) ○ 読書の推進 ・目標設定 月4冊以上 ○ 木チャレ ・放課後の学力補充の取組 ○ 夏休み学習の実施 ○ 年度末校内学力テスト	その他の取組 ○ 学習環境の改善 ・学習用具の見直し ・宿題の継続(音読・漢字・計算) ○ 自主学習の推進	



校種間連携 ○ 中学校教員による授業の実施 ○ 夏季合同研修会の実施 (学習規律・学習の習慣化に関する相互研修)	活用する支援内容		家庭・地域との連携 ○ 「家読」の実施による読書力の向上 ○ 家庭学習ノートの活用による学習習慣の定着 ・低学年30分 ・中学年40分 ・高学年60分 ○ 規則正しい生活の励行 ○ 学力調査結果の公表
	支援内容 (1)児童生徒支援 (2)教員指導力向上支援 (3)地域人材活用支援 (4)学習習慣支援 (5)その他	具体的内容 ○ 授業時の学習支援 ○ 授業モデル作成、授業改善、授業力向上 ○ ゲストティーチャー(食育栽培方法等) ○ 地域ボランティア(下坂部音頭、図書ボランティア) ○ 学習支援に関する書籍の補充 ○ 研究資料費の活用 ※特色ある教育活動支援 ○ 三味線・謡・踊りを通した伝統文化(壽式三番叟) ○ 近松(郷土)学習	